

ICTを活かし新たなコミュニケーションを創出する メディアデザイン



研究概要

キーワード ビジュアルインフォメーションデザイン／メディアデザイン／視覚文化研究

ICTを活かし豊かな地域文化を創出し、付加価値を創るためにデザイン力が求められています。出原研究室では、CG、VR/MR/ARなどのリアルとヴァーチャルをつなぐメディア技術を活用し、人・街・文化をつなぐ感動コミュニケーションをデザインし、実践的な開発を行います。



図1

金沢駅「鼓門」
プロジェクションマッピング

金沢の新たな夜のにぎわい創出を目的とした、鑑賞型と参加型のプロジェクションマッピングの企画・開発を実施。



図2

加賀友禅デジタル染め
体験システム

深度センサを用い布を手で触れるだけで、加賀五彩による友禅らしいぼかし染めのデジタル体験ができるシステムを開発。

今後の展開やメッセージ

これまでの実績を踏まえて、メディア技術を活用したコミュニケーション手法を開発していきたいと考えています。

研究者情報



研究者情報URL

<https://www.kanazawa-it.ac.jp/kyouinroku/a/AECA.html>
<https://researchmap.jp/read0201738>

出原 立子 教授・博士(芸術工学)
情報フロンティア学部 メディア情報学科
所属研究所：感動デザイン工学研究所(所長)